

公 共 空 間

# コモンスペースをつくる

～ 市民アーカイブ多摩を軸に～

講師：岡部明子さん

(東京大学教員・建築学)



東京・立川市に2014年開設した市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」は、民家をリノベーションしてスタートしました。

資料の保存・閲覧のための小さな場として、また、人が集い、語り合うスペースとしても、多くの方をお迎えしてきました。現在は資料も増え続け、新たな場所づくりが課題になってきています。

一方、新たな感染症の流行や公共施設有料化・民営化がすすむ中、人びとが自由に集い、顔を合わせて語り合う場が、日常の暮らしから、どんどん失われてきています。それは、時代や地域・思考を超えて多様な人と「共に生きる」ことをさらに困難にしているように思えます。

私たちには、どのような「コモンスペース（公共空間）」をつくっていけるのでしょうか。日本のみならず世界でも、多様な人とコモンスペースづくりに具体的に関わってきた岡部さんの経験をお話いただきながら、市民活動資料を中心においた「共に生きる場所（コモンスペース）」の可能性と具体案を現地で考えていきたいと思えます。どうぞお気軽にご参加ください。

要事前申込み  
先着40人  
参加費  
500円  
(会員無料)

2023年 **6月4日** (日) 午後**1時30分**～**4時30分** (午後1時開室)

会場：**市民アーカイブ多摩** (玉川上水駅南口徒歩8分) 裏面に地図

主催・申込み先：ネットワーク・市民アーカイブ

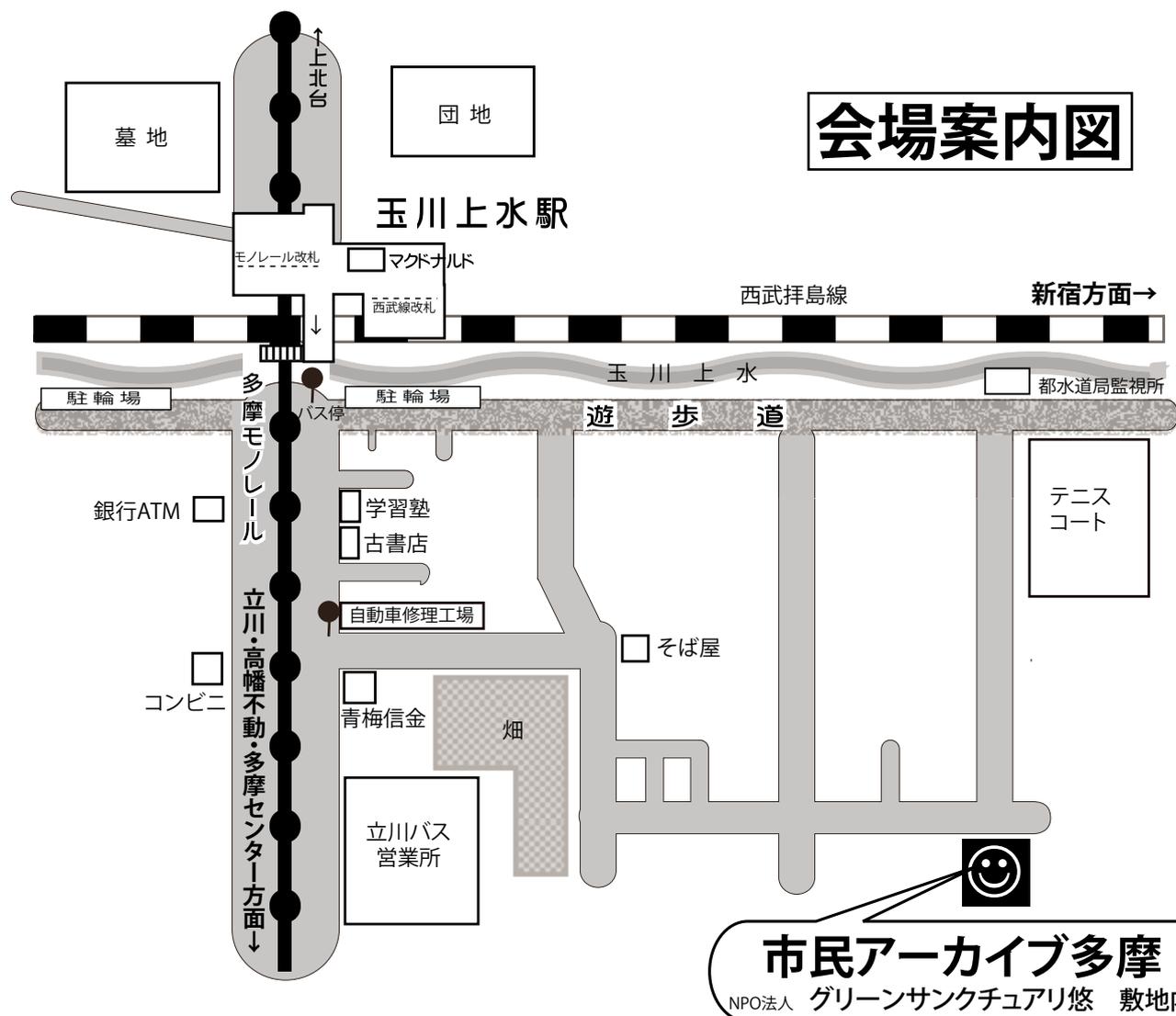
tel&fax: **042-396-2430**

E-mail: [info@archive-tama.sakura.ne.jp](mailto:info@archive-tama.sakura.ne.jp)

<http://www.c-archive.jp/>

講師：岡部明子さん

幼少期をメキシコで過ごす。大学卒業後、バルセロナで建築事務所に勤務、後に主宰。1996年に帰国。千葉大学教員を経て、2015年から現職。千葉県館山市での古民家再生プロジェクトやインドネシアやラテンアメリカなど都市部の人口過密地域（スラム）の住空間の改善など、社会システムに組み込まれていない外から、コモンスペースを考える。



### 市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」のご案内

- ・開館日：毎週水曜日、第2・4土曜日（年末年始と8月中旬は休館）
- ・開館時間：午後1時～4時 ・入館カンパ：100円～
- ・所在地：東京都立川市幸町5-96-7（多摩モノレール、西武線「玉川上水駅」南口徒歩8分）
- ・電話& fax：042-536-5535（開館中のみ）
- ・見られる資料：市民活動団体や個人が発行しているミニコミ（通信や会報など）2000タイトルほか
- ・ホームページにミニコミのタイトル、発行団体を掲載。<http://www.c-archive.jp/>
- ・運営：ネットワーク・市民アーカイブ